

## 第3学年 社会科学学習指導案

は組 男子 17 名 女子 18 名 計 35 名  
指導者 森山 慎一

### 1 小単元 市の人びとの買い物

### 2 小単元について

#### (1) 単元の位置とねらい

子どもたちは、これまでに、鹿児島市の様子について追究することを通して、鹿児島市の主な地域の地形や交通、土地利用の様子は場所ごとに違っていることを捉えてきている。このような学習をしてきている子どもたちは、身近な地域の人びとの仕事について、関心をもち始めている。

そこで、本小単元では、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりに着目して、地域に見られる販売に携わっている人びとの仕事の様子について、事象同士や消費者の願いと関連付けながら追究する活動を通して、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえ売上げを高めるよう工夫して行われていることを捉えさせようとするものである。また、地域の人びとの仕事の様子に関心を高めるとともに、見学・調査や絵図などの資料で適切に調べまとめる技能や、販売の仕事の工夫を考えたり、考えたことを表現したりする力を高めようとするものである。

このような学習は、地域の生産の仕事に見られる工夫や自分たちの生活との関わりを追究する学習へと発展していくものである。

#### (2) 指導の基本的な立場

鹿児島市には、市街地の天文館を中心に、スーパーマーケットやデパート、コンビニ、各種専門店など様々な業態の店舗が多く見られる。それらの中で、スーパーマーケットでは、日々の生活に必要な、生鮮食料品や日用品などを多く取り扱っており、セールなどの特売日を設けたり、客が買い物をしやすくするために商品の配置を工夫したりするなどの来客数を増やし売上げを高める工夫をしている。イオン鹿児島鴨池店は、学校の近くにあるスーパーマーケットであり、多くの子どもたちが買い物に行った経験がある。同店は、一階食料品売り場と二階の衣料品売り場で構成されており、定期的なセールを行ったり、買い物客が買いやすいような商品の配置をおこなったりして、買い物客の要望に応じた様々な工夫を行っている。

そこで、本小単元では、販売の仕事に携わる人びとが、消費者の多様な願いを踏まえながら、売上げを高めるための工夫を行っていることを捉えさせるためにイオン鹿児島鴨池店を取り上げ、取組を調べさせていく。その際、販売の仕事の工夫を追究していく過程においては、取組のねらいと消費者の願いとを関連付けながら学習を展開していくことが大切である。

そのために、まず、子どもたちに自分の家庭の買い物の様子について調べさせ、多くの家庭が、スーパーマーケットを多く利用しているという事実を基に、「なぜ、多くの人がスーパーマーケットに買い物に行くのだろうか。」という問題意識をもたせて、学習問題を設定し、スーパーマーケットで働く人々の仕事の工夫についての追究意欲を高めたい。次に、見通しをもった追究をさせるために、学習問題に対する予想を基に追究計画を立てさせる。さらに、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目させながら追究の柱に沿って見学に行ったり、写真や地図などの資料を活用したりして調べさせていく。その際、スーパーマーケットで働く人々の取組の目的を考える活動を設定し、スーパーマーケットで働く人々の工夫を捉えられるようにする。そして追究の過程で獲得した事実や事実を基に見いだした考えを再構成させるために、学習問題に対する自分の考えをまとめさせる。また、販売に関する仕事について学んできたことを、一般化して整理することができるようにするために、学習したことを基に、自分の家の身近な店舗に見られる販売の工夫について話し合わせる。

これらの学習は、地域の販売に関する仕事について理解するとともに、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力を高め、地域社会に対する誇りと愛情を育むことにつながる。

(3) 子どもの実態(調査人数 35 人, 質問紙法, 主な項のみ記述)

<p><b>項目 1</b> スーパーマーケットで働く人の仕事 ※複数回答 レジウチ(26), 商品設置(21), 案内・接客(15) 商品の点検・管理(3), 調理・加工(2), 無答(6)</p> <p><b>項目 2</b> スーパーマーケットで働く人の仕事の工夫についての理解 ※複数回答 会計の効率化(13), 価格設定(9), 接客態度(8) 商品の置き方(5), 宣伝(2), 無答(6)</p> <p><b>項目 3</b> スーパーマーケットの商品がどこから来るか ※複数回答 工場(29), 外国(21), 市場(13), 他県(6) 本店又は他店(3), 無答(5)</p> <p><b>項目 4</b> 買い物客の願いについて ※複数回答 価格(21), 安心・安全(16), 種類の多さ(12) 便利さ(5), その他(2)</p> <p><b>項目 5</b> 本小単元に関わる資料活用力について ○ 地図 記号の読み取り(33), 基準からの方位(19) ○ グラフ タイトル(35), 項目(35), 最大値(35) ○ 写真 全体(26), 部分(18), 行動(27)</p> <p><b>項目 6</b> 思考の方法について ○ 比較 差異点(29) 類似点(23) ○ 関連付け(17)・・・事実同士をつなげて考える ○ 総合(22)・・・複数の事実をまとめて考える</p>	
---	--

スーパーマーケットで働く人々の仕事については、レジウチを挙げている子どもが多いが、それ以外の仕事を挙げている子どもは少ない(項目 1)。これは、子どもたちが買い物の際に接することがない仕事については目を向けられていないからであると考えられる。また、働く人々の仕事の工夫については、会計の効率化や価格設定などを挙げている子どもがいるものの、どの項目についても十分に捉えているとはいえない(項目 2)。これは、子どもたちが買い物をする際に、働く人の行動や商品の配置まで意識していないからであると考えられる。商品の仕入れ先につ

いては、工場を挙げている子どもが多い。これは自分たちが購入する、お菓子などで仕入れ先を考えているからであり、生鮮食料品の取扱については、目を向けられていないからであると考えられる(項目 3)。消費者の願いについて、捉えられている子どもは少ない、これは子どもたちが買い物をする際に、価格以外の要素に目を向けていないからであると考えられる(項目 4)。地図やグラフの読み取りについては、これまでの学習を通してできる子どもが多い(項目 5)。資料に表されている事柄同士を比較することはできているが、関連付けることや事実を総合することについては、十分に身に付いているとは言えない。これは、これまでの学習において、働く人々の仕事に見られる取組の意味を自分たちのくらしと関連付けて追究する経験をしていないからであると考えられる(項目 6)。

(4) 指導上の留意点

以上のことを踏まえ、指導に当たっては、次のことを留意したい。

単元の追究過程においては、スーパーマーケットで働く人々が、消費者の様々な願いに応えながら売上げを高める工夫をしていることを具体的に捉えさせるために、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目しながら追究できるような小単元の学習問題を設定するとともに、スーパーマーケットで働く人々の工夫と消費者の願いを関連付けながら追究させていく。

ア まず、学級全体の一週間の買い物調べの結果を提示し、学級の多くの家庭がスーパーマーケットで買い物をしているという事実から生じた疑問を基に、「スーパーマーケットには、なぜ多くの人が買い物に行くのだろうか。」という学習問題を設定し、消費者がスーパーマーケットを多く利用する理由について追究したいという意欲を高めさせる。そして、子ども一人一人の予想を基に「販売の仕方の工夫」「商品の仕入れ先の工夫」を追究の柱として設定させる。

イ 買い物客の願いや、スーパーマーケットで働く人々の工夫について具体的に捉えさせるために、まず、「販売の仕方の工夫」について、商品の品質管理、売り場の並べ方や値段の付け方、宣伝の仕方に着目させ、調べた事実と消費者の願いとを関連付けて考えさせ、売上げを高めるために、多くの買い物客の願いに応じた工夫をしていることを捉えさせる。その際、利益を損なわない範囲で消費者の願いに応じていることを捉えさせるために、店舗側が対応した要望と対応しなかった要望を比較させ、その理由を追究する活動を設定する。次に、「商品の仕入れ先の工夫」について、商品の産地に着目させ、商品の仕入れ先を白地図に整理させ、調べた事実と消費者の願いを関連付けて考えさせるようにしたい。その際、わたしたちのくらしは、商品を通して国内外のいろいろな地域と繋がっていることや、外国には国旗があることを理解させるようにしたい。

ウ 追究した結果、スーパーマーケットで働く人々の仕事について分かったことや考えたことを基に再構成させるために、学習問題に対する自分の考えをまとめさせる。さらに、学習してきたことを基に、自分の家の近くの様々なお店の工夫について話し合う活動を設定する。



## 5 本時(8/11)

### (1) 目標

イオン鹿児島鴨池店の買い物客の要望への対応の理由について、要望してきた人数や実現にかかる費用、時間、予想される結果に着目して、対応した要望と対応しなかった要望を粘り強く比較する活動を通して、イオン鹿児島鴨池店は買い物客の要望に利益を損なわない範囲で可能な限り対応していることを捉えることができる。

### (2) 本時の展開にあたって

本時の展開にあたっては、店舗の買い物客の要望に対する取組に着目して追究できるような学習問題を設定する。また、買い物客の要望に売上げを損なわない可能な限り対応していることをとらえさせるために、毎日全商品を半額にしてほしいという要望への対応しない理由について話し合う活動を設定する。

### (3) 実際

学習過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ			
具体化	<p>1 本時の学習問題を確認し、具体化する。</p> <p>イオン鹿児島鴨池店が、買い物客の要望に対応するものとししないものがあるのは、なぜだろうか。</p>	(分)	<p>㊦ 実物(イオン鹿児島鴨池店の意見要望カード)</p> <p>○ イオン鹿児島鴨池店の買い物客の要望への対応の基準について問題意識をもたせるために、対応した要望としていない要望を提示し、その判断基準を予想させ、予想の根拠の曖昧さを基に学習問題を設定する。</p>			
追究計画	<p>2 予想を基に、学習の進め方について話し合う。</p> <p>&lt;予想&gt; &lt;追究の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要望した人が多ければしてくれる → 要望してきた人数</li> <li>・お金が効かないのはしてくれる → 実現にかかる費用</li> <li>・時間が効かないのはしてくれない → 実現にかかる時間</li> <li>・お客さんが喜ぶ → 予想される結果</li> </ul>	8	<p>○ 見通しをもった追究ができるようにするために、予想を基に追究の視点を話し合う場を設定する。</p> <p>㊦ 写真(増やされたベビーカートとその置き場)</p> <p>㊦ 表(ベビーカートの一般的な価格)</p> <p>㊦ 表(ベビーカートとその設置場所を増やすためにすること)</p>			
追究問題の究明	<p>3 イオン鹿児島鴨池店の買い物客の要望への対応について追究する。</p> <p>イオン鹿児島鴨池店の買い物客の要望への対応</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>【対応した】</p> <p>ベビーカートの設置場所や数を増やしてほしい</p> <p>1人</p> <p>カート代</p> <p>話し合い</p> <p>お客さんが喜び買い物に来てくれる(③)</p> <p>一人でも多くの買い物客の要望に応えようとしている。</p> </td> <td style="width: 33%; text-align: center; padding: 5px;"> <p>比較</p> <p>要望してきた人数</p> <p>実現にかかる費用(①)</p> <p>実現にかかる時間(②)</p> <p>予想される結果</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>【対応しなかった】</p> <p>いつも全商品を半額にしてほしい</p> <p>複数人</p> <p>かからない</p> <p>かからない</p> <p>お客さんは喜ぶがもうけがなくなる(④)</p> <p>もうけがなくなるような要望には対応しない。</p> </td> </tr> </table>	<p>【対応した】</p> <p>ベビーカートの設置場所や数を増やしてほしい</p> <p>1人</p> <p>カート代</p> <p>話し合い</p> <p>お客さんが喜び買い物に来てくれる(③)</p> <p>一人でも多くの買い物客の要望に応えようとしている。</p>	<p>比較</p> <p>要望してきた人数</p> <p>実現にかかる費用(①)</p> <p>実現にかかる時間(②)</p> <p>予想される結果</p>	<p>【対応しなかった】</p> <p>いつも全商品を半額にしてほしい</p> <p>複数人</p> <p>かからない</p> <p>かからない</p> <p>お客さんは喜ぶがもうけがなくなる(④)</p> <p>もうけがなくなるような要望には対応しない。</p>	30	<p>○ 実現に費用や時間がかかっても要望に対応していることを捉えさせるために、「ベビーカートの設置場所を増やすと決めたらどのようなことが必要になってくるかな。」と問う。その際、ベビーカートとその設置場所を増やすためにすることの表とベビーカートの一般的な価格の表を提示し、具体的な手間や価格を基に話し合わせるようにする。(①, ②)</p> <p>㊦ VTR(買い物客の話)</p> <p>○ ベビーカートの設置場所や数を増やすことがお客さんの喜びや、次の買い物につながることをとらえさせるために、「要望に対応したことで、どんな結果が考えられるかな。」と問い、話し合わせる。その後、VTRで実際の買い物客の話を聞かせ確かめさせる。(③)</p> <p>㊦ 絵図(商品の販売価格に含まれる費用)</p> <p>○ 店側が利益を損なわない範囲で対応していることを捉えさせるために、対応しなかった要望の、その後の予想される結果を話し合わせる。その際、大きな価格の引き下げが、利益をなくす可能性があることを捉えさせるために、商品の販売価格に含まれる費用の絵図を提示し、「お店が商品を安く売るときに、最初に削られるのはどの費用かな。」と問い、店の利益に着目させて話し合わせる。(④)</p>
<p>【対応した】</p> <p>ベビーカートの設置場所や数を増やしてほしい</p> <p>1人</p> <p>カート代</p> <p>話し合い</p> <p>お客さんが喜び買い物に来てくれる(③)</p> <p>一人でも多くの買い物客の要望に応えようとしている。</p>	<p>比較</p> <p>要望してきた人数</p> <p>実現にかかる費用(①)</p> <p>実現にかかる時間(②)</p> <p>予想される結果</p>	<p>【対応しなかった】</p> <p>いつも全商品を半額にしてほしい</p> <p>複数人</p> <p>かからない</p> <p>かからない</p> <p>お客さんは喜ぶがもうけがなくなる(④)</p> <p>もうけがなくなるような要望には対応しない。</p>				
まとめ	<p>4 本時の学習についてまとめる。</p> <p>イオン鹿児島鴨池店は、一人でも多くの買い物客の要望にこたえようとしているが、もうけがなくなるような要望には対応しないから。</p> <p>5 本時の追究を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ お店が対応した要望と、対応しなかった要望を比べると、その理由が分かったぞ。</li> <li>○ 比べる時は、かかる費用や時間、予想されるもうけで比べると、良かったぞ。</li> </ul>	7	<p>○ 追究問題に対する自分の考えを再構成させるために、本時のまとめを、個人で記述させてから、全体で話し合わせる。</p> <p>○ 本時で働かせた社会的事象の見方や考え方の価値を捉えさせるために、本時の学習過程について、追究の視点や方法を振り返らせる。</p>			

